

## <教育利用・校務活用> ③教員研修会

### ○11月20日操作体験（講師 みんなのコード 永野 直 様）

#### ・信憑性について

- たまに嘘をついたり、知ったかぶりをしたりすること。（ハルシネーション）
- 学習しているデータが古い場合があること。
- 最終的な判断は人間にゆだねられること。

#### ・実施のコマンド入力方法について

- 利用規約を守る。（保護者への説明・理解）
- 反社会的・暴力的等の回答を求める危険があること。
- プロンプトの入力が、学習データに利用される可能性があること。
- 個人情報・機密情報を入力しないこと。

#### ・生成AIの特性を知ることについて

- 言葉のつながりを確率的に結びつけて文章を生成していること。
- 同じ質問をしても違う答えが返ってくること。
- 人名、歴史、計算、最新のことなどの出力は苦手こと。
- 検索エンジンではないので、存在しない文章を生成することが目的であること。
- 利用者の判断は不可欠であること。
- うまく使えば、人の発想を広げたり、課題解決につながる可能性は大きいにあるということ。

### ○12月12日授業での使用

- ・「情報の表現と管理」授業参観
- ・授業について振り返り
- ・他校の状況等

#### 「情報の表現と管理」の振り返り（授業担当）

- 1年3組システムメディア科の生徒40名
- ・生徒が安全に生成AIを利用できるように、ツール「みんなの生成AI」を使用しました。
  - ・利用規定を各自読み、自分で判断して利用することと、利用したくない生徒は班の人から見せてもらってもよいこととしました。生徒全員が興味関心を持ち積極的に利用していました。
  - ・検索する・キーワード入力から脱することができず、今までの検索エンジンでもできる回答が多くみられました。
  - ・プロンプトの入力の仕方をもう少し丁寧に説明してから利用するべきでした。
  - ・事後アンケートで危険性については100%理解できているようでした。
  - ・今後、生成AIを使いたいと思いますかという事後アンケートでは、80%の生徒が「はい」としていました。



### ○1月29日校務活用

- ・データ分析をする上での留意点について
- ・グラフ作成について
- ・GPT3.5とGPT4.0の違いについて

#### グラフ作成について（GPT3.5とGPT4.0の違い）

- ・GPT3.5は、データをコピーして使用する。
- ・GPT4.0は、ファイルをそのままアップロードができる。
- ・GPT4.0は、日本語のフォント入れないと項目の表示が文字化けをする。
- ・GPT3.5は、直接グラフを作成できない。
- ・GPT4.0は、そのままエクセルのファイルを添付してグラフを作成できる。

#### データ分析をする上での留意点について

- ・生成AIはハルシネーションがあることを忘れない。
- ・出てきた結果をうのみにしない。
- ・人間の解釈や確認は不可欠。
- ・数値の単純計算やグラフ描画はエクセルの方が向いている。
- ・大規模なデータ、複雑な処理をする場合には追加機能を使う必要がある。
- ・個人情報を含むデータを分析、アップロードしない。
- ・数値全体の傾向、変化が把握できる
- ・大量、複雑な処理は有料版を使う必要がある。

